

果をあげている。当区は福祉ニ
ーズも多く、専門窓口の設置を
国に要望すべきだがどうか。

【産業経済】ハローワーク足立
でも、同機能を持つ「福祉人材
コーナー」を、今年8月を目途
に設置する予定と聞いている。

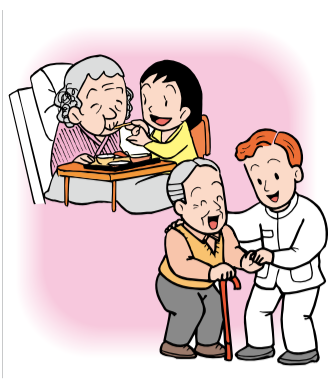
効果的な介護予防策を問う

【問】認知症予防のためにも、
口腔機能の向上は大切である。
啓発・指導やキャンペーン実施
等、積極的に意識改革を行うべ
きだがどうか。

また、介護予防の重要性を認
識していても、気軽に参加でき
る場所が無く、なかなか事業が
進まない現実がある。親しみや
すいネーミングで、誰でも気軽
に参加し、継続できる流れを作
るべきだがどうか。

さらに、一人暮らしの高齢者
は個食のためか、栄養バランス
を欠きやすい。今後の栄養改善
への考えと取り組みを伺う。

【福祉】より多くの方に口腔ケ
アの重要性を認知してもらえら
よう、啓発活動を積極的に進め
ていく。その一つとして、介護
予防事業参加者等に歯ブラシ等
の配布も検討していく。



介護予防については、「パー
クで筋トレ」のように、分かり
やすく抵抗感の無いネーミング
の事業として、参加しやすい環
境で実施するよう検討していく。

また、今後は介護予防事業参
加者に栄養バランスのとれたメ
ニューが掲載されたチラシを配
布する等、栄養改善を積極的に
働きかけていく。

【救急医療情報キット】を配布
し、高齢者に安全・安心を！

【問】都内のある自治体では、
医療情報を入れた容器、通称「救
急医療情報キット」を高齢者世
帯に配布し、好評を得ている。
当区でも実施すべきだがどうか。

【福祉】既に実施している自治
体の状況等を調査するとともに
東京消防庁をはじめとした関係
機関との連携のあり方等につい
て、調査・検討していく。

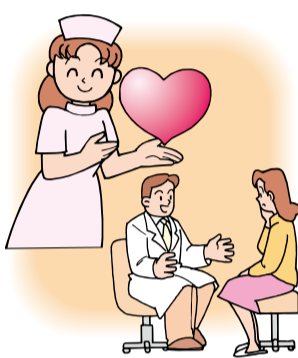
積極的に幼児教育を行うべき

【問】幼児期の発育が、思春期
の不登校や引きこもり等に大き
な影響を及ぼすことが指摘され
ている。区は、就学前の子ども
への保育や教育機能のさらなる
充実について、今後どう取り組
んでいくのか。

また、これまで区は、幼保小
連携に取り組んできたが、進級
する小学校に慣れるため、さら
に子ども同士の交流が図れるよ
う、具体的に取り組むべきと思
うがどうか。

【子ども】昨年から「基本的な
生活リズムを身につける」を重
点施策とし、取り組んでいる。
また、遊びや体験を重視した
保育内容を提供し、たくましく
生き抜く力の基礎を育んでいく。
保育園・幼稚園から小学校へ
の円滑な移行は重要である。今
後は、これまでの取り組みで成
果のあった体験給食の実施園を
増やす等、さらに幼保小の連携
交流を進めていく。

女性のがん検診の重要性を訴え
る事業を展開させるべき



【問】近年、女性の子宮頸がん・
乳がんが増加傾向にある。環境
整備の推進や意識の向上を図る
ため、毎年3月の「女性の健康
週間」に、キャンペーンを行う
等の取り組みをしてはどうか。

また、都と連携して無料誌や
ポストカードの提供等、情報が
行き届く工夫をし、受診率の向
上を図るべきと思うがどうか。

【衛生】「女性の健康週間」に
ついては、今のところ、特別な
キャンペーンの予定は無いが、
区ホームページで健康づくりの
情報を提供する予定である。

また、都との連携やピンクリ
ボンイベント・広報誌等を活用
し、検診の重要性について一層
の普及啓発に努め、受診率の向
上を図っていく。

【衛生】ヒブワクチンの接種実
績が積み重なってきたので、発
売前の課題は徐々に解消しつつ
あると認識する。副反応等の状
況を今後さらに見極めながら、
都と連携し助成を検討していく。
豊かな自然環境を創出せよ

【問】①本年度から「みどりと
公園推進室」が開設された。緑
のある空間や、豊かな自然環境
は生活に潤いと安らぎを与える
が、区民が実感できる具体的な
取り組みを伺う。
また、②圻川のヘドロしゅん
せつ工事終了区域に水生植物を
植える等、目に見える改善策を
推進してはどうか。

【みどり】①今年度創設した「緑
の基金」を活用するとともに、
圻川周辺の特別景観形成地区へ
の支援、専門家を派遣し構造上
安全な屋上緑化を進める等、民
間への支援の仕組みづくりを取
り組んでいく。

【土木】②今後の圻川の環境向
上のため、綾瀬川からの本格的
な通水に加え、水質浄化に寄与
する水生植物を植える等、緑の
創出が重要と考える。国、都、
埼玉県、八潮市との五者協議会
の中で具体策を提案していく。

【問】①学校評価制度や学校自
由選択制度の導入等、教育改革
の取り組みも本年度で10年を迎
えたが、社会環境等の変化の中
で、時代に即した改善を臨む声
もある。さらに改革の実をあげ
るため、今後取り組む課題は何か。
また、②区内に開学予定の帝
京科学大学や東京電機大学等と
教育関連の連携を今後どう取
組むのか。

【教育長】①現在の課題は「た
くましく生き抜く力」を育むた
めの基礎・基本的な学力の定着
と、子どもたちの交流・体験事
業をさらに充実させることであ
る。今年度は、副担任講師制度
やあだちキッズアカデミー等、

小学校1年生や4年生を対象と
した施策に力を入れている。
【学校教育】②現在、あだちキッ
ズアカデミー等の選定委員会に
参加いただいている。今後は、
第2回「あだち 子ども もの
づくりフェスタ」への参加を促
すとともに、帝京科学大学につ
いては、アニマルサイエンス学
科と連携を図り、子ども達が動
物に触れながら生命の不思議に
ついて学ぶ等、学生レベルでの
連携拡大を目指していく。
区立中学校の部活動に外部指導
員の積極導入を図るべき

【問】部活動は、生徒の個性や
豊かな人間関係を育むうえで重
要な教育活動であるが、教員の
異動等で廃部や、指導できる顧
問が少ないのが現状だと思
う。今年度から外部指導員の
報償費補助を開始したが、当区
もこの制度を積極的に活用すべ
きではないか。

【教育指導】これまで区費で114
の部活動に延べ138名の外部指導
員を活用しているが、併せてこ
の都補助制度を十分に活用し、
外部指導員の積極的な導入に努
めていく。

【福祉】特養ホームについて、
平成23年度までに250床の増床を
予定している。
また、協議から開設まで最短
でも3年以上を要するので、そ
の後の整備については、社会福
祉法人と連携し十分に検討して
いく。

【中小零細企業に対する支援を
【問】中小企業の仕事の結果は、
その地域経済への波及効果が
大きい。区は中小零細企業をど
う評価しているのか。
また、支援する自治体の役割
は大きいと考えるがどうか。

【産業経済】区内中小企業は、
地域経済や地域社会の発展に大
きく貢献していると考える。し
たがって、雇用促進や地域の活
性化のため、経営力、技術力の
さらなる向上への支援が重要な
課題と認識している。
また、中小企業に対する資金
調達支援、経営相談、創業・起
業家の育成に力を注いできたが、
今日の極めて厳しい社会経済情
勢を乗り切り、経営の健全化を
図っていただくため、さらに支
援を強めていく。さらに支
援を強めていく。T A S Kプロジェクトへ参加を
駅前にもづくり展示を

【問】地域産業活性化のために
各自自治体を取り組んでいるもの
のひとつに「T A S K (タスク)
プロジェクト」がある。台東区、
荒川区、墨田区、葛飾区の4区
が共同し、地域の企業や大学、
研究機関、人材等、多様な資源
を組み合わせて、活用する事業を
推進してきた。区も積極的に参
加し「ものづくり」を支援すべ
きだがどうか。
また、ものづくりの大切さを
アピールするため、「ものづく
り」の展示を、駅前等の人が集
まるところで事業者の意見を聞
き実施してはどうか。

日本共産党足立区議団
足立の「ものづくり」に支援を！
地域医療ネットワーク
づくりを！

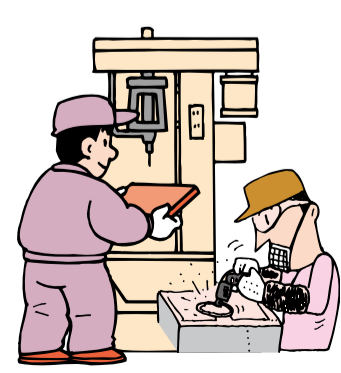


日本共産党
さとう 純子 議員

【問】区保育所の待機児数は昨
年の2倍以上の418人である。
また、特養ホーム待機者は3
千人を越え年々増加している。
待機児数、待機者数に見合った
施設整備計画をたて、事業の前
倒し等区民要望を実現すべきだ
がどうか。

【子ども】緊急待機児対策とし
て、認可保育園の新設及び半年
前倒し開設、3カ所の東京都認
証保育所開設等の整備を進めて
いる。

【問】緊急待機児対策とし
て、認可保育園の新設及び半年
前倒し開設、3カ所の東京都認
証保育所開設等の整備を進めて
いる。



【産業経済】T A S K (タスク)
プロジェクトについては、平成
21年度から参加し、他4区と協